



図書館だより

2014年4月 (No. 85)

【開館時間】 10:00~19:00

【休館日】 毎月第3月曜日 (4月は21日です)

千歳市立図書館

指定管理者山三ふじや

〒066-0046 千歳市真町2196番地の1

TEL 0123-26-2131

E-mail toshokan@e-fujiya.com

ホームページ <http://library.city.chitose.hokkaido.jp/>



平成26年度 こどもの読書週間記念事業

こどもの読書週間は

4月23日~5月12日です

よしながこうたくの

整理券の配布は、
4月1日(火)からです!
(申込順)

日時: 5月10日(土)

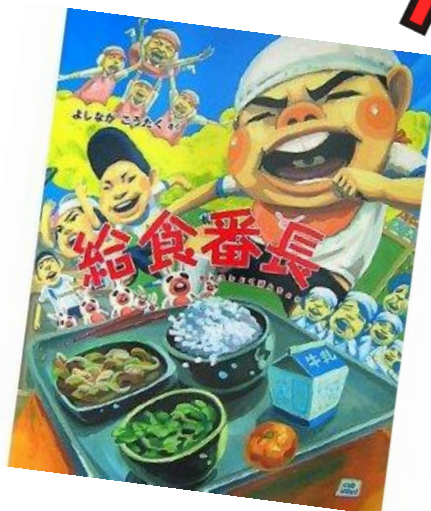
10:30~12:00

場所: 千歳市立図書館2階AV室

ライブペインティング!

「給食番長」「飼育係長」などの絵本で
おなじみのイラストレーター、よしながこ
うたくさんがやります!

エキセントリックな、よしながさんの世
界をたっぷりとお楽しみください。



おはなし会

1階おはなしコーナー

- 5日(土) 14:00~ おはなしぐるんば
- 12日(土) 11:00~ くりねずみ (図書館職員)
- 13日(日) 11:30~ 日曜おはなし会 しゃぼんだま
- 16日(水) 11:00~ おはなしの会 ピノキオ
- 20日(日) 11:00~ E絵本くらぶ (えいごおはなし会)
- 26日(土) 11:00~ くりねずみ (図書館職員)
- 27日(日) 11:30~ 日曜おはなし会 しゃぼんだま

上映会 2階AV室

- 4月6日(日)
14:00~14:35
「こびと観察入門 カブト
タケノ ノミビョウタン編」
- 4月20日(日)
14:00~16:25
「クライマーズ・ハイ」
[2008年作品]
監督: 原田 真人
出演: 堤 真一
堺 雅人 ほか



～新着図書・視聴覚資料～

3月に入った本の一部です



<496 X>

目の病気の最新治療

杉田 美由紀 監修 主婦の友社 編
／主婦の友社

緑内障や糖尿病網膜症など、とくに失明がこわい目の病気を中心に最新治療法等を解説した、目の健康を守る総合ガイド。技術革新の進んでいる眼科医療の最前線、いまずぐ実行できる目の病気を防ぐ生活法も紹介する。

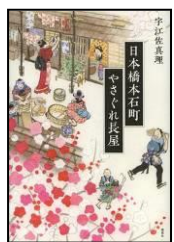


<686.0 ト>

線路はつながった 三陸鉄道復興の始発駅

富手 淳 著／新潮社

大震災で線路を破壊され、会社存亡の危機に晒された三陸鉄道。「あまちゃん」の舞台ともなったローカル鉄道が、丸3年で完全復旧するまでの激動の日々を、三鉄社員が綴る。



<913 ウ>

日本橋本石町やさぐれ長屋

宇江佐 真理 著／講談社

日本橋本石町にある、通称“やさぐれ長屋”には、様々な事情を抱えた住人が集まっている。一本気な職人、早々に出戻った若い娘…。お互い、お節介をやきながらも助け合う長屋の人々の毎日を描く。

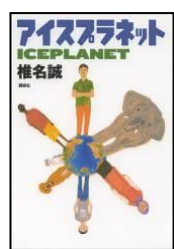


<913 ダ>

獄の棘

大門 剛明 著／KADOKAWA

弘前市の刑務所内では、刑務官の間で密かに「赤落ち」と呼ばれるギャングが行われていた。刑務所統括の名久井はこのことを知り、刑務官の武島良太に調査するよう指令するが…。



<Y91 シ>

アイスプラネット

椎名 誠 著／講談社

ぼくの家には、母の弟の「ぐうちゃん」がいる。世界中を旅してきたぐうちゃんの話は信じられないような「ほら話」ばかりだけど、とてもおもしろくて…。



<E パ>

パンやのろくちゃん げんきだね

長谷川 義史 作／小学館

ろくちゃんのおうちは商店街のパン屋さん。ろくちゃんはお父さんと自転車の特訓をしていたけれど、何回やっても乗れない。すると、酒屋のおじさんや、いろんな人がやって来て…。

視聴覚資料は今年入ったものの一部で、館内でご覧いただけます



<V13-3326>

ロックスおじさんの秘密の種

監督 クリス・ルノー

出演 (声) ダニー・デビート ほか

少年テッドの住む街は全てが人工でプラスチック。彼は好きな女の子が見たいという本物の木をプレゼントしようと、おばあちゃんからかつての緑っぱいの街を知るとい謎の老人ワンスラーの存在を教えてもらう。



<V12-3827>

最強のふたり

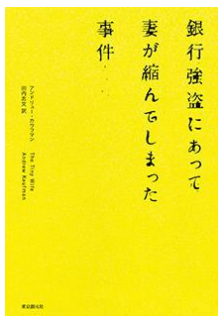
監督 エリック・トレダノ、オリヴィエ・ナカシュ

出演 フランソワ・クリュゼ ほか

車いす生活を送る富豪フィリップは介護士面接にやってきた黒人青年ドリスに興味を持つ。2人の生活は衝突し続けるが、やがてユーモアに富んだ最強の友情が生まれ始める。

私のオススメ!

『銀行強盗にあって 妻が縮んでしまった事件』 アンドリュー・カウフマン



強盗は13人から、それぞれの【もっとも思い入れがあるもの】を奪います。そして『あなた達の魂の51%を手に入れた。これから次々と不可思議な出来事が起こるだろう。51%を自分で回復しないと、あなた達は命を落とすことになる』と言い残して去ってゆきます。母親が98人に分裂してしまった男性に、夫が雪だるまに変身した女性。一体どういうことなのでしょう。日常の「当たり前」や「常識」が次々と、くつがえされていきます。(はる)